

# 第28回人間中心の教育セミナー

-----自分を知らう！ 自分で考えよう！ 誰かの力を借りてみよう！-----

お互いの言葉を聴き、自分の気持ちを味わい、「今ここにいること」を感じてみる。

ちょっと疲れた人も、元気な人も、セミナーでともに過ごしてみませんか。

ヒントはこのセミナーにあるかもしれません。

自分を知ること、学ぶこと、教えること、誰かと話をしてみる。

当たり前のことなのに、普段なかなかできない時間がここに 있습니다。

- ・1日目はときどきワークショップ。 4種類用意しました。
- ・2日目はのんびりエンカウンター。少人数でじっくり、ゆったり思い語り聴き合う場を用意しました。 《どちらか1日だけの参加もできます。》

☆期日・日程：2015年 7月28日(火) 29日(水)

第1日目：7月28日(火)

・・・9：30受付開始です。

3階「葛城西」の入口で受付をします。

9：30am～

受付

10：00am～10：30am

オリエンテーション

10：40am～12：40am

ワークショップ(分科会、裏面参照)

12：40am～ 2：00pm

《 昼食 》

2：00pm～ 5：00pm

(午前中に引き続き)ワークショップ

5：10pm～ 6：40pm

人間中心の教育研究会総会

7：00pm～ 8：45pm

懇親会(自由参加・要実費)



第2日目：7月29日(水)

・・・9：30開始です。各会場どうぞ。

3階「葛城西」の入口に会場を掲示します。

9：30am～12：00am

エンカウンター・グループ

12：00am～ 1：30pm

《 昼食 》

1：30pm～ 3：50pm

(午前中に引き続き)エンカウンター・グループ

4：00pm～ 5：00pm

全体交流会



☆会場：アウィーナ大阪(旧なにわ会館) TEL：06-6772-1441

☆会費：7,500円(ただし、会員・学生は6,500円、1日参加は5,500円)

☆定員：60名

「人間中心の教育」(person-centered education)とは、その人の人間としての存在や成長を中心に教育活動をしていこうとするものです。今、職場から失われようとしている、ゆるやかなのんびりした雰囲気の中で、他者の言葉を聴き、互いが「ここにいること」を確かめ合いながら、もう一度自分を見つめ、日常の子どもやさまざまな人と自分との関係を振り返ってみませんか。

ほっと一息ついて、明日から元気が湧いてくる。そんなひとときを夏の大阪で一緒につくりましょう。貴重な時間を私たちと共有してくださる方々の、多数のご参加をお待ちしています。

☆ホームページ：<http://pcaningen.web.fc2.com/index.html>

☆主催：人間中心の教育研究会



## 第28回人間中心の教育セミナーへの申し込み方法

1. 下記申し込み先に7月22日(水)までに申し込み用紙の内容をメールまたは、郵送のいずれかでお申し込みください。会費は郵便振替で下記口座までお送り下さい。尚、宿泊については、アウィナー大阪や近隣の国際交流センター内のホテル、その他に各自でお申し込みください。

◆申し込み・問合せ先

「人間中心の教育セミナー」事務局 E-mail : [ningen83@gmail.com](mailto:ningen83@gmail.com)

◆郵便振替〈口座番号〉00980-5-145710 (加入者名) 小幡浩次

2. 参加予約後、当日欠席される場合は、他の方にお返し下さい。(参加費はお返してできませんので予めご了承下さい。)
3. 参加予約人数が定員に満たない場合は、当日も受け付けます。

## 人間中心の教育研究会へ入りませんか

本研究会は、人間を尊重する教育を、実践的、理論的に求めているこうとする人達が手をつなぐ会です。一緒に、少しずつ、歩みませんか。

◇入会申込み先

◇会費納入 年3,000円 E-mail : [pca-mizuno8@nifty.com](mailto:pca-mizuno8@nifty.com)

◇郵便振替〈口座番号〉00910-2-107598 (加入者名) 人間中心の教育研究会大阪事務局

## 教育のためのエンカウンター・グループに参加しませんか

◇12月25日(金)~28日(月)に、「第37回エンカウンター・グループ経験と人間中心の教育研修会(有馬研修会)」(3泊4日)が行なわれます。お早めにお申し込みください。

◇参加費 多くの人が参加できるように自分の経済状態に応じて希望額を書いていただくことにしました。できれば基準額の5万8千円以上で、余裕のない場合でも下限の4万5千円以上をお願いします。年収300万円を越える方は基準額以上をお願いします。当研究会会員はそこから2千円を割り引きます。(申し込み金10,000円)

◇申込み先

有馬研修会事務局 FAX : 06-6436-9035 E-mail : [kaznoji@air.ocn.ne.jp](mailto:kaznoji@air.ocn.ne.jp)

◇郵便振替〈口座番号〉00900-2-187842 (加入者名) 野近和夫

## 2015年セミナー申し込み用紙

郵送：上記の申込み先にお送りください。  
メール：下記内容をメールにご記入ください。

ふりがな お名前		住所	
電話 FAX		E-mail	
希望参加コース ○印を付けてください。	第1日目：ワークショップ 第2日目：エンカウンター	① ② ③ ④ 参加 ・ 不参加	
参加方法 I または II に○を付けてください。	I : 1日参加 5,500円 (第__日目に参加します)	II : 両日参加 7,500円 (会員・学生は6,500円)	

1日目は丸1日を使ってのワークショップです。次の4つの分科会を予定しています。

ワークショップはいくつかのグループに分かれて行います。繰り返しの説明を避けたいので、午前・午後を通して同じグループへの参加をお勧めいたします。ただし、このことにご了解いただいたうえでであれば、午前・午後で異なる分科会にご参加いただいてもけっこうです。

### グループ①：「パーソンセンタードへの道」

ロジャーズがファシリテーターとして参加したベーシック・エンカウンター・グループの映像「出会いへの道」「ピコズ ザッツ ウェイ」を視聴し、感想など出し合いながら、エンカウンター・グループについて、一緒に考えたいと思います。

野近和夫（大阪府立桃谷高校）

### グループ②：「SP（サブ・パーソナリティ）トランプによるエンパワメント・カウンセリング」

今回のテーマは ”心を整える” です

心の中には数多くのSPが存在しています。そしてそれぞれのSPが反発したり同盟を組んだり、ときには心の中を支配したりします。

今年のテーマは”心を整える”です。最近、心が落ち着かない、しっくりしない、ざわざわしている、イライラしている、落ち込んでいる、やけにテンションが高い、満たされない、空しい、疲れている等々皆さんの心の中を知り、心の中の整理にお役立て下さい。プログラムの内容は

- 1、心の中を知る（自分SPを知る）
- 2、心が鼓舞されたり、疲れたりする原因を知る
- 3、気になるSPを知る
- 4、コアになっているSPカードの創造
- 5、コアのSPからの脱同一化

SPトランプは日本人のパーソナリティを構成する主だったSPをトランプ仕立てにしたものです。大人のみならず子供たちも対象にSPトランプを使った研修やカウンセリングを実施しています。

特に地元大阪市ではキャリア教育で10000人以上中学生が受講しています。<http://www.yao-ec.co.jp/>  
八尾芳樹（YAO教育コンサルタント・エンパワメントカウンセリング研究所代表）

### グループ③：「〇△□ 枠づけ創作体験法の実践」

昨年は、水墨画の仙厓「〇△□」から着想した創作体験を実施して好評でした。今年も標題のように、以下の内容で実施します。

まず、「ここをころがせる」セッションでは、軽く目を閉じて、〇△□画をイメージして瞑想体験をします。次に、創作セッションでは、その体験を、クレヨンを使って描画し、文章につづって物語にします。この一連のプロセスを創作体験と称し、グループで分かち合うセッションをもちます。この体験のプロセスから自己に触れてゆくことが目的です。この方法をパーソンセンタードの仕方でも実施します。

村田 進（石川県立金沢西高校・専門学校アリス学園）

### グループ④：「非暴力トレーニング」

いじめ、虐待、セクハラ、パワハラ、ヘイトスピーチ、暴行、殺人からパワーポリティックス、戦争まで暴力的手段で自分の欲求を実現しようとする動きが絶えません。

一方で、自分も相手も尊重しながら問題の解決をめざす非暴力的方法があります。コミュニケーションに焦点を当てて、なぜ暴力的手段に訴えてしまうのか、非暴力的に解決するにはどうすればいいのかを、実習をまじえて一緒に考えていきましょう。

水野行範（大阪府立桃谷高校）

2日目はベーシック・エンカウンター・グループを予定しています。当日の参加者の人数によっては、2グループに分かれて行くかもしれません。

教員ばかりでなく、スクール・カウンセラー、保護者、そして学校を外側から見守る人々等々がそれぞれの思いを語り、支え合う場になりたいと思っています。

### ※「ベーシック・エンカウンター・グループ (BEG)」とは・・・

- ①ベーシック・エンカウンター・グループは特定のテーマを決めずに、その場にいる参加者が、自由に、率直に、話し合い聞き合う場です。
- ②学校や職場、家庭から国際問題まで、さまざまな葛藤や紛争の和解の手段として、個人の受容・共感・純粋性の3条件を育てる場として、発展してきました。
- ③「20世紀の最大の発明のひとつ」とカール・ロジャーズが呼んだベーシック・エンカウンター・グループの入門コース的なものとして実施したいと思いますので、どうかご参加ください。



### 過去参加者の声 (抜粋)

- ✓毎日のあわたたしい日常からしばし離れ、エンカウンターの中で自分の心に久しぶりにゆっくりとふれあう事ができ、幸せな時間を持つことができました。
- ✓自分を見つめる時間が持ててよかった。  
自分をわかってもらえるのがいいという意見があったが、自分をわかってもらいたいのは、他の人よりも、自分自身であることに気づいた。
- ✓発達障害のある生徒への対応方法を具体的に知ることができた。また、教員側がストレスをためないようにするにはどうしたらよいかなど教員が元気であるためにどうすればよいか、深呼吸の方法などを知ることができた。
- ✓創作体験では自己表現の大切さと体験過程についてより深く体験的にじっくりと学ぶことができてよかったです。
- ✓初めて参加させてもらいました。  
エンカウンターはとてもふしぎな空間でした。いろいろな人がいる、いろいろな考えがあるということがわかって、偏りない自分でありたいと思いました。ずっと「let it go」の歌が頭の中で流れていました。